

施策番号	施 策 名	予算額(百万円)	
331	国際的な環境保全への協力	54	
【2010年度の目標】 三重県に蓄積された環境保全技術や経験が、行政や事業者、民間支援組織などによって情報発信され、アジア地域をはじめとする開発途上地域への技術移転が行われています。			
項 目	基準年度の状況	1999 年度実績	2001 年度の目標 (2010 年度の目標)
海外研修員等受入数	636人	1,013人	1,500人(累積) (3,000人(累積))
技術講師等の海外派遣数	192人	325人	500人 (1,000人(累積))

<これまでの取組>

現在、全国の自治体の中でも、環境を通じた自治体レベルの国際協力を行っている例は少ない中、三重県では、アジア地域の自治体を対象とした環境セミナーの実施や、友好提携先である中国河南省の環境保全担当職員の受入研修・講師の派遣などに取り組んできました。

(財)国際環境技術移転研究センター(ICETT)は三重県における活動の拠点となっており、本県の保有する環境技術や経験について世界に情報発信し、平成11年度は年間約25万件のアクセス数を記録しました。また、海外から政府職員等を受け入れて環境保全技術研修(52ヶ国、1,013人)を実施するとともに海外へ専門家を派遣し、途上国などにおける人材育成(1,344人)にも貢献してきました。さらに、地球環境問題の解決に資する環境技術・産業技術の研究開発、特に途上国等への移転・普及を促進するための技術開発を企業、大学等との連携により実施し、その件数は51件となっています。

<平成13年度の取組>

平成13年度においては、ICETTへの事業委託を通じ、アジア開発途上国において、地域の実情に応じた環境保全計画の策定を支援するとともに、人材育成、専門家の派遣、適地技術の移転等を有機的に組み合わせた総合的な事業を実施することにより、環境を通じた国際交流に貢献します。

また、国際環境会議等への参加を通じて、国際的な環境保全に関する三重県の取り組みについて世界に情報発信します。

<主な事業>

- 1 河南省環境保全支援事業 (4,720(4,720)千円)
【(101) 国際環境協力の推進事業】〔環境部〕
本県との友好提携先である中華人民共和国河南省から環境行政等に携わっている職員を受け入れ、公害防止技術及び地球環境保全に関する研修を実施します。

- 2 ICETT事業推進費 (44,770(44,770)千円)
【(201)環境関連技術の研究開発と世界への情報発信事業】〔地域振興部〕
ICETTを通じ、タイ国ラヨン市において、環境保全計画の策定・実施のための調査・支援を行うとともに国内受入研修を実施します。また、新規支援対象自治体を選定するための事前調査を実施します。
- 3 APEC環境技術交流促進事業負担金 (2,117(2,117)千円)
【(201)環境関連技術の研究開発と世界への情報発信事業】〔地域振興部〕
近畿2府6県3政令市、民間企業、経済団体、研究機関等で「APEC環境技術交流促進協議会」を設置し、APEC環境技術ハブ・センターの設置・運営やAPEC環境技術交流促進ワークショップを開催します。

<主な見直し項目>

「国際環境ネットワーク推進事業」は、国際環境自治体協議会を脱退し、新たに国連大学ゼロエミッションフォーラムに参加するとともに、4県連携で水環境づくり国際会議を開催。

「ICETT事業推進費」の中で、アジア自治体環境支援プログラム事業の内容を精査し、委託金額を削減。

「APEC環境技術交流促進事業負担金」の額を削減。